

交響組曲 AKIRA に息づくトランスの世界

地球の未来を拓く忘我と恍惚の音楽

芸能山城組公演

アキラ じえごぐだん

逢燦杰極譚 III

幻 Gensyo 唱

バリ島のディーブトランス

ビグミー人のライトトランス

2023年 11月 18日(土) 16:00開演 なかのZERO大ホール

東京都中野区中野 2-9-7

地球の未来を拓く忘我と恍惚の音楽

アキラじえごくだん
〈逢燦杰極譚〉は、世界を魅了する『交響組曲 AKIRA』（山城祥二作曲）を核として、バリ島の巨竹打鳴アンサンブル〈ジェゴグ〉の轟きに声、鍵盤楽器、電子楽器を融合させた新しいコンサートホール・ライブ作品です。

「AKIRA」に描かれた壊滅的終末が西欧文明の利己と闘争により一触即発の現実となった今、新たに芽生える生命に地球を受け継ぐために何ができるのでしょうか。私たちは、人類

が文化と歴史を超えて磨き上げてきた「トランス」に一筋の光明を見出しました。人と人が力を合わせるにより忘我と恍惚の境地を生み出し、魂を天外に飛ばすトランス音楽は、あらゆる諍いと争いを超越して人々を強く結びます。豊かな生命力と包容力にあふれる〈杰極〉が生み出すトランスの世界は、「行動する文明批判」を50年続けてきた芸能山城組が、地球の未来に贈るメッセージです。

プログラム

第一章 邂逅覚醒 かいこうかくせい

インドネシア・バリ島の伝統曲で幕を開け、ジェゴグを用いた芸能山城組最初の作品で大友監督にアニメ「AKIRA」の音楽を山城祥二に託すことを決意させた『輪廻交響楽』、国際花と緑の博覧会（1990）の野外パビリオン・アレフのために創られた『翠星交響楽』と続く。
演奏曲：バリ島の伝統曲〈ジャイヤン・タンギス〉、『輪廻交響楽』から〈転生〉、『翠星交響楽』から〈黎明〉

第二章 解明創発 かいめいそうはつ

山城流（杰極）と人類の叡智が生み出したトランスの脳科学を解説する。

第三章 逢燦杰極 III アキラじえごく III

2022年上演の「逢燦杰極 II」に新たな楽曲を加えて再構成。声明とジェゴグによる祈りの音楽に、能の音楽をベースにつくられた〈回想〉などを加え、ライトトランスの世界を創出する。後半は、おなじみの〈金田〉ほか。全編に生命力と地球の未来への祈りがあふれる。
演奏曲：『交響組曲 AKIRA』から〈ネオ東京上空の風〉〈回想〉〈四方讃〉〈四波羅蜜讃〉〈莊嚴陀羅尼〉〈変容〉〈金田〉〈クラウンとの闘い〉〈ケイと金田の脱出〉〈未来〉



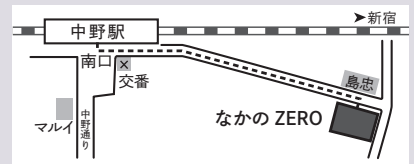
🎫 チケット取扱い：イープラス

HS席 7,500円
S席 5,500円
A席 4,000円
(全席指定)



📍 なかのZERO 大ホール

JR・東京メトロ東西線 中野駅 南口徒歩8分
TEL: 03-5340-5000



📞 お問い合わせ：芸能山城組

メール kouen@yamashirogumi.jp
Webサイト <https://www.yamashirogumi.jp>

新しい音楽のかたち〈杰極〉

インドネシア・バリ島の巨竹打鳴アンサンブル〈ジェゴグ〉は、豊かな自然の恵みをあびて育った長大肉厚な竹をパイプオルガンさながらに配列し、これを叩いて大地の底からうねりとどろく迫力の超重低音から軽やかな高音まで五オクターブを奏でる巨竹打鳴オーケストラです。

山城祥二は、ジェゴグの響きが人間の声や電子楽器など多様な響きを包みこみ魅力的に共生調和させる驚異の包容力をもつことを見出しました。

た。この包容力を活かすために、バリ島伝統の四音階ジェゴグをもとに五音階ジェゴグを開発し、複数の音律を演奏可能とする楽器改造を実現。さらに最新の音響技術を導入して、超広帯域に広がるジェゴグの響きのパワーアップに成功しました。

こうして、ジェゴグを核に、人間の声や電子楽器など多様な音を融合させる、これまでにない魅力あふれる「新しい音楽のかたち〈杰極〉」が誕生したのです。

